

平成22年度 第9回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成22年12月15日（水） 午後3時00分～午後4時40分

場 所：県庁10階 管理者室

出席者：病院局 病院事業管理者，病院局長，総務課長，
経営企画課長 ほか

病院 各県立病院長，中央病院副院長，各県立病院看護局長，
各県立病院事務局長 ほか

(1) 平成22年度決算見込（10月末）について

【説明】病院局経営企画課 予算企画担当

平成22年度の決算見込み（10月末時点）について示す。

【質疑等】

管理者：10月末時点で約2.4億円の黒字予定である。中央病院改築の減価償却が始まる平成25年度までに内部留保資金がいくらあれば，不良債務は発生しないだろうか。

病院局：実質内部留保資金については，平成22，23年度でかなり回復すると思うが，平成25年度から悪くなる。それまでに，実質内部留保資金をゼロに近づけたい。

管理者：今の経営努力を続けていけば，平成24年度末には実質内部留保資金が，現在のマイナス10億円からゼロにすることができるか。

病院局：平成17年度から平成21年度の5年間で，マイナス46億円あった実質内部留保資金をマイナス14億円まで減らしている。単年度6～7億円減らしていることになる。頑張ればゼロに近づく。過去を一度清算したい。

病院局長：昨日の組合との交渉で，知事部局と同様に給与カットは続けることで了承を得たが，給与カット率は7～10%カットが1～5%カットになる。つまり，給与費が増えるので，より経費を引き締めていってほしい。

(2) 日報速報値について

【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

平成22年度4月から11月の「入院患者数」，「新規入院患者数」等について集計値を報告する。

【質疑等】

管理者：新規入院患者が増えているのはいいことだ。中央病院の平均在院日数の目標はいくらか。

中央病院：14.0日を切ることを目標にしている。新規入院患者数については，看護局では1日平均25.5人が目標である。

管理者：目標達成ための取り組みは何をやったのか。

中央病院：病床管理を意識してやった。

管理者：平均在院日数については、前方支援と後方支援のやり方次第でまだ下げられると思う。今の連携システムでは限界か。

中央病院：13日くらいまでは可能かもしれない。

管理者：三好病院の平均在院日数について目標値は。

三好病院：看護局としては目標は立てていないが、病院は18.0日を目標にしている。

管理者：三好病院は地域医療支援病院に承認されることが目標なので、それをクリアできるような段取りをしてほしい。

三好病院：それでやってみる。

管理者：逆紹介率を増やそうとすれば、入院患者数が減り、経営的にはマイナスだが、まず、自分たちが血を流す努力しないといけない。紹介率については、もう少しで40%に届く。

三好病院：地域医療センターとも連携しながらやっていきたい。

管理者：海部病院についてはどうか。

海部病院：12月までは、ある程度医師が充足しているが、1月から医師が減って持ちこたえられるかが心配である。

管理者：海部病院の平均在院日数の目標は。

海部病院：19.0日を目標にしている。

中央病院：この平均在院日数は亜急性期の患者を含んで出しているのか。

海部病院：含んでいる。

(3) 患者さんのQOL（生活の質）を高める、各職種による指導・活動の推進について

【説明】中央病院

中央病院検査技術科が患者満足度の向上のために行う取り組みである「検査手帳」について説明する。

【質疑等】

管理者：ほかの部門を巻き込んでやろうとしているのはすごいことだ。「私のカルテ」に是非つながっていくようにしてほしい。

中央病院：たくさん扱っていききたいと思う。将来的には、地域連携の先生方にも扱ってほしいと思う。

管理者：中央病院の基本理念である「県民に親しまれ、信頼される病院」となるために、どんな工夫をしていくか。例えば、検査手帳のファイルにスタッフ全員の顔写真を出してはどうだろうか。個人情報の問題もあるから、院内で議論してほしい。ほかにもいっぱいあると思う。検査手帳の作成自体が県民に親しまれるための取り組みになっているが。

中央病院：患者さんがかかりつけ医に「検査手帳」を持って帰った時に、「ALL IN ONE」で中央病院でのことが分かるようにしたい。

管理者：まずはやってみることだ。

【説明】三好病院

三好病院栄養管理科が患者さんのQOLの向上のために行っている治療の一環としての栄養管理について説明する。

【質疑等】

管理者：院内掲示板への掲示は海部病院でやり始めたことが、中央病院・三好病院に広がった。三好病院は在宅酸素している患者さんが多いが、栄養管理科として何かしているか。していないなら、何かしたら良い。

三好病院：外来の患者さんについては、栄養指導を一度やったら終わりという人が多い。

管理者：外来で通院になると、あまり関わらなくなる。在宅の患者さんに対しては、普段食べているものをデジカメで撮ってきてもらう等工夫して、栄養指導をどうしていくかを考えてほしい。

【説明】海部病院

患者さんのQOLを高めるため、海部病院各局（医療局，事務局，医療技術局，看護局）の取り組み及びチームとしての取り組みについて説明する。

【質疑等】

管理者：「海部郡リハビリテーション研究会」に毎回40～50人参加するのはすごい。それをきっかけにして地域との連携をどう強めていくかだ。

管理者：患者さんのQOLを高める取り組みということで、もちろん患者中心でなくてはいけませんが、大衆迎合主義になってもいけない。自分たちのアイデンティティを持ってやってほしい。それが中央病院の「検査手帳」であり、三好病院の栄養管理科の取り組みであり、海部病院の訪問医療等である。

(4) その他

・次月分（1月分）の病院局経営戦略会議の議題案について

【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

次月分の「経営戦略会議」の議題について説明する。

・「県立病院を良くする会（第2回）」の開催について

【説明】病院局総務課 政策調整担当

「県立病院を良くする会（第2回）」の開催及び議題について説明する。

管理者：県立病院については、理解してくれているようで、まだ理解してくれていない部分もある。経営健全化計画も含めて、県民にアピールする場である。